

事業報告

令和4年度 第6回 大分県公立図書館等職員研修会

日時 令和5年2月20日(月) 13:00~15:10

会場 大分県立図書館 2階 視聴覚ホール

参加者 公立図書館等職員 32名(事務局含む)

<研修趣旨>

公立図書館等の職員に対し、講師のこれまでの経験をはじめ、大分市美術館の取組や展示経験をもとにした、人を惹きつける企画の立て方や、教育施設としての留意点などを学ぶことで、今後の図書館経営に活かす。

<研修内容>

演題 「魅力のある企画の作り方～美術館活動の実践を通して～」

講師:大分市美術館 館長 菅 章 氏

<受講内容>

- 1.はじめに自己紹介
- 2.魅力のある企画とは
- 3.企画の実践
 - (1)美術館での活動特別展を中心に
 - (2)アートプロジェクトとまちづくり地域とのつながり
- 4.おわりに

<当日の様子(写真)>



<参加者感想>

- ◇ニーズに対するウォントを見つけ出すことが難しいと感じた。自らアンテナを広げつつ、思考を止めないようにしようと思う。
- ◇美術館も図書館も、相通じることを感じ、菅館長の職歴を活かしていただき、ヒントをもらった。美術館も図書館も心豊かな人生を送るために必要不可欠。地域の中心にどちらもあるのがベストだと感じた。
- ◇人をひきつける企画とはどのようなものか具体的に展示の例を見ながら学ぶことが出来た。ニーズを把握することは難しいけれど、とても重要なことだと改めて感じた。
- ◇外に向かってPRをしていく大切さを実感した。図書館も自館だけでなく、いろんな人と関わっていく事が大切だと思った。
- ◇まず消費者のニーズを的確につかむことで、運営やイベント開催などにつなげて、利用者に還元出来たらと思った。